



Photofacial.<sup>®</sup>  
フォトフェイシャル<sup>®</sup>

肌の悩みは、光で洗う。  
新星・フォトフェイシャル<sup>®</sup>

## フォトフェイシャル<sup>®</sup>とは

IPL(Intense Pulsed Light)という肌にやさしい光をお顔全体に照射して、シミ、くすみ、赤ら顔、小じわ、毛穴の開きなどを改善する美肌治療です。

しみや赤ら顔などの改善とともに、真皮層にも働きかけることでコラーゲンを増生し、肌のキメや質感を整えます。

マイルドな治療で、複数回繰り返すことでより効果が実感できます。



## このような方におすすめ



シミやくすみ、赤ら顔、毛穴の開きなど  
複合的なお悩みをお持ちの方



気軽に受けられる治療をご希望の方  
施術時間は約15分で終了します。



周囲に気が付かれずに治療されたい方  
治療後、ガーゼや絆創膏の必要がなく、  
直後からメイク・ファンデーションも可能です。



痛みの少ない治療をご希望の方  
ゴムでパチンと弾かれた程度で、麻酔も不要です。

# 施術の種類

肌トラブル

レーザー治療

フォトフェイシャル®

シミ  
そばかす

694nm ルビーレーザー  
755nm アレキサンドライトレーザー

小じわ

1064nm Nd:YAG  
レーザー

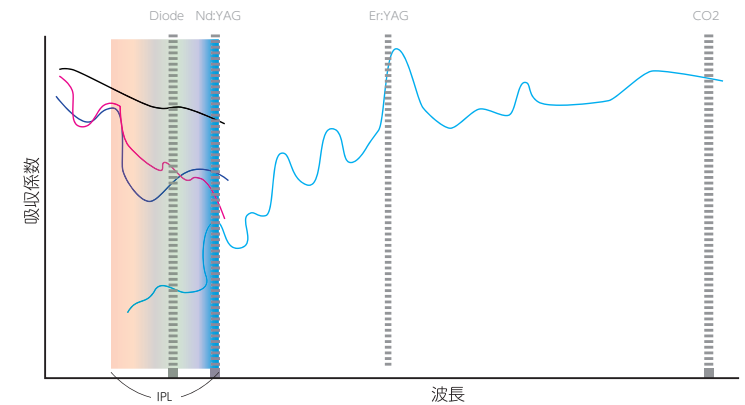
毛穴の開き

10600nm 炭酸ガスレーザー  
1064nm Nd:YAGレーザー

赤ら顔  
血管拡張症

595nm ダイレーザー

IPL 400 - 1200 nm



# レーザー治療との違い

## レーザー治療

## フォトフェイシャル<sup>®</sup>

効果

ターゲットのみを改善  
(シミならシミだけ)

顔全体の肌トラブルを改善  
(シミだけでなく、くすみや赤ら顔など  
肌全体を改善)

施術  
回数  
期間

1回(または短期間)

複数回(3-4週間に1回)の施術

痛み

強い痛み  
麻酔が必要なことが多い

ゴムでパチンと弾かれた程度  
麻酔は不要

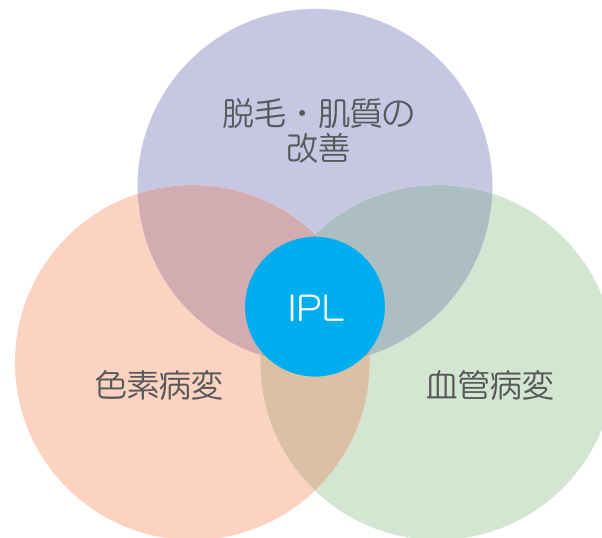
ダウンタイム

傷になる  
ガーゼや絆創膏が必要

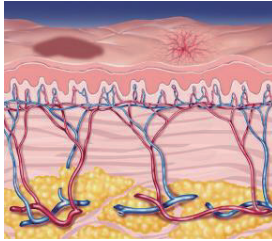
傷にならない  
直後からメイク、ファンデーションも可能

## さまざまな肌トラブルに対応

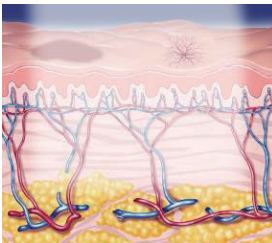
- ・しみ
- ・そばかす
- ・くすみ
- ・赤ら顔
- ・毛細血管拡張
- ・小じわ
- ・毛穴の開き
- ・脱毛



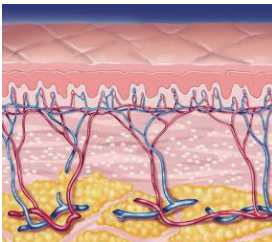
# フォトフェイシャル<sup>®</sup>のメカニズム



光老化によりメラニン色素が沈着してシミやそばかすがあり、肌が不均一な状態。



IPLの光が肌トラブルの原因となっているターゲット(メラニンや毛細血管)に当たると、ターゲットに吸収され、熱に変わり、ダメージを与えます。



赤外線領域の光も含まれているため、繊維芽細胞が活性化され、内側から美しい肌に。

## 施術の流れ

1 メイクやクリームなどを完全に落とします。

2 冷却ジェルを塗布



肌を保護するため、冷却ジェルを塗布します。

3 IPLを照射



照射は約10分。  
カメラのフラッシュのような眩しさや、  
ゴムでパチンと弾かれた程度の痛みがあります。

4 直後から洗顔・メイクが可能です。



# 施術後の注意点

- 紫外線対策を必ず行ってください。
- 直後はひりひりした感じや赤みが数時間残ることがあります。
- 施術直後から乾燥肌になることがありますので、保湿するようにしてください。
- 数日後、しみやそばかすの部分が濃く浮き出たような感じがする場合があります。これは回復に向かっている傾向で、数日で痂皮(かさぶた)となって自然に剥がれ落ちます。

## 起こり得る副作用

ごく稀ではありますが、施術後に起こり得る一般的な副作用は以下のとおりです。

✓ **色素の変化(色素脱失・色素沈着)**

ほとんどは皮膚の色が濃い方や施術前後に紫外線に暴露された場合に起こります。  
多くの場合、半年～1年程度で消失しますが、半永久的に改善しない場合もあります。

✓ **過敏な皮膚反応**

皮膚が過敏な状態になる場合があります。

✓ **紅斑**

施術後に紅斑が見られる場合があります、1-3日間程度続く場合があります。

✓ **過度の膨れ**

施術直後、皮膚が一時的に膨れる場合があります。

# 起こり得る副作用

ごく稀ではありますが、施術後に起こり得る一般的な副作用は以下のとおりです。

## ✓ 痒み、毛包周囲の赤み

施術部位に痒みや、毛包周囲に赤みが出現する場合があります。その部位を十分に冷やすことで軽減できる場合もありますが、症状が持続する場合があります。

## ✓ 紫斑

紫斑(青紫のあざ)ができることがあります。

## ✓ 熱傷

熱傷によって痂皮や水疱ができる可能性があり、全治まで5-10日程度かかる場合があります。

## 施術後の経過

施術前



施術2日後



照射後、シミの色調が濃くなります。

施術7日後



数日で痂皮(かさぶた)となり、剥がれ落ちます。  
シミが薄くなると共に、肌全体の色調も明るくなります。

## 施術前にご申告ください

- ✓ 日焼けをしている方  
(特に1ヶ月以内に長時間日光を浴びた方)
- ✓ 施術後2週間以内に、長時間日光を浴びる予定のある方
- ✓ 妊娠中、授乳中の方
- ✓ 活動性の感染症のある方
- ✓ 皮膚に病変のある方(炎症、擦り傷、切り傷など)
- ✓ 単純性ヘルペスの既往のある方
- ✓ ケロイド癬痕のある方
- ✓ 光過敏症もしくは、光過敏性を高める薬剤をご使用中の方
- ✓ 糖尿病の方
- ✓ てんかんの方
- ✓ AIDSやHIVを含む免疫抑制疾患の方
- ✓ 抗凝固剤をご使用中の方
- ✓ 過去に肝斑、もしくは肝斑の可能性があると専門医に診断された方

# Before and After

シミ

Before



After 3 treatments



After 5 treatments



# Before and After

シミ、くすみ、質感、キメ

Before



After 5 treatments



# Before and After

## シミ、小じわ、キメ

Before



After 3 treatments





# Before and After

## 手背のシミ

Before



After 4 treatments



# Before and After

## 毛細血管拡張症

Before



After 3 treatments



# Before and After

## そばかす、毛穴の開き

Before



After 5 treatments





[www.photofacial.co.jp](http://www.photofacial.co.jp)

監修：近畿大学医学部 皮膚科学教室 名誉教授 川田暁 先生・  
近畿大学医学部 皮膚科学教室 山本晴代 先生